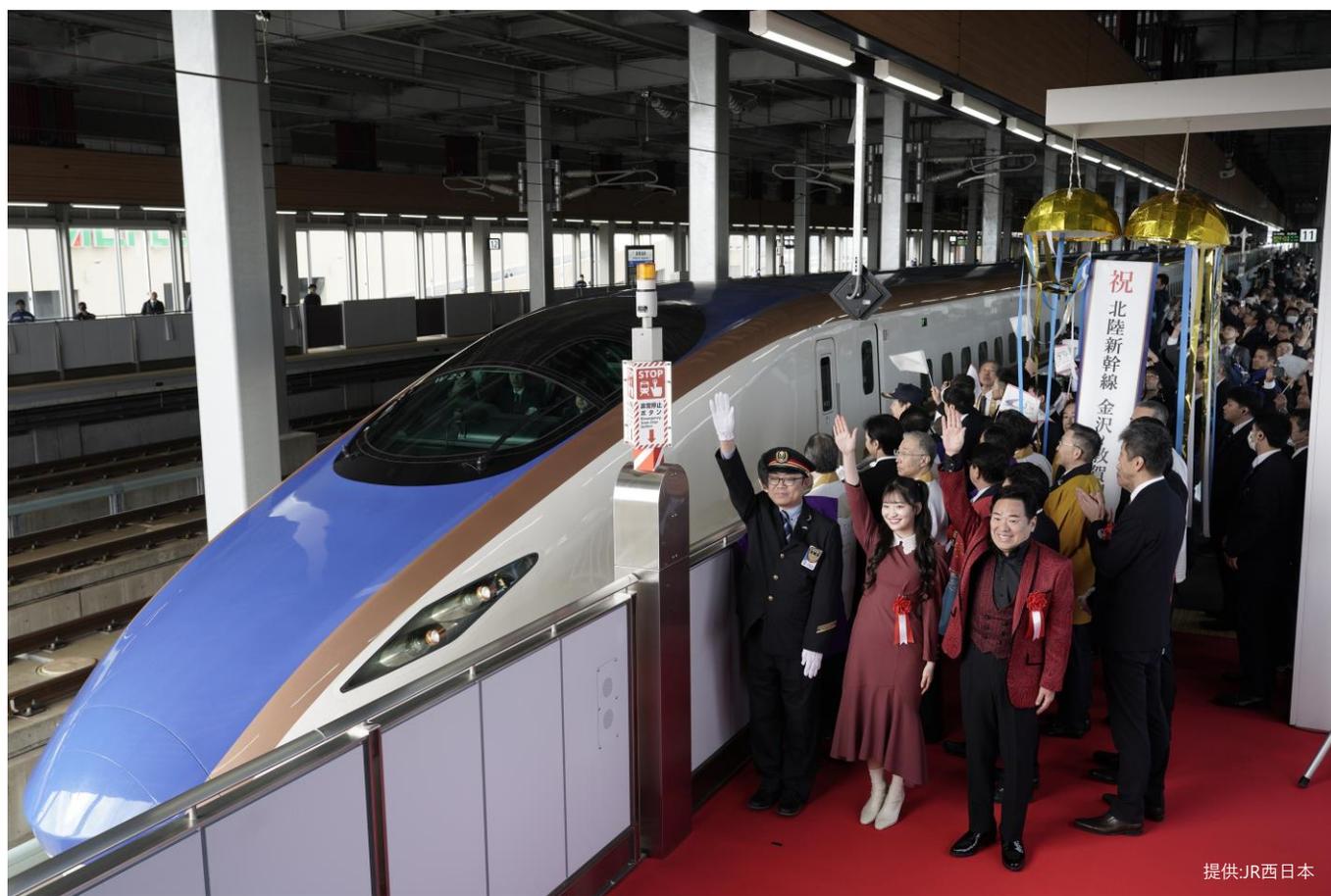


令和6年（2024年）

県政記録いしかわ



提供:JR西日本

石川県

発行
発行者

令和7年3月
石川県総務部知事室戦略広報課
所在地:〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL:076-225-1239

1月の主な出来事

令和6年能登半島地震が発生（1日）

最大震度7を観測した令和6年能登半島地震では、津波、家屋倒壊、火災、地盤隆起、液状化などが同時に発生する県政史上未曾有の大災害となりました。

国や市町と連携しながら、道路・水道などのインフラの早期復旧、公費解体の促進、仮設住宅の建設や、被災者の生業再建など、復旧・復興に向け、現在も継続して対応に取り組んでいます。





2月の主な出来事

「今行ける能登」の情報発信を開始

能登半島地震で甚大な被害があった能登でも、比較的被害が少なく観光客の受入れが可能な施設もあることから、道路情報や施設の再開状況などを正確に伝えるため、「今行ける能登」と称して情報発信を開始しました。



応援消費おねがいプロジェクトを開始 (1日)

地震で県内の飲食店や観光事業者、県産品の製造・販売事業者の売り上げが大幅に減少するなど深刻な影響を受けていたことから、共通のロゴのステッカーを店舗や商品に貼っていただくことで応援消費の機運を高めるプロジェクトを開始しました。



岸田総理が被災地を視察 (穴水町、輪島市) (24日)

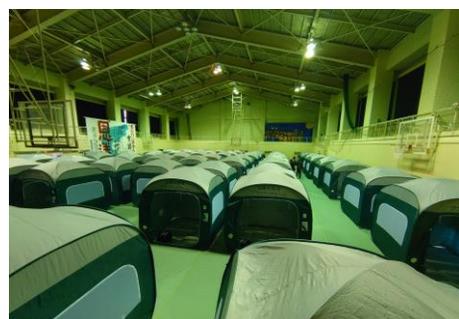
岸田総理は能登半島地震による被災状況視察のため、石川県を訪問しました。先月に続いて2度目となる視察では、穴水町の避難所のほか、輪島市の白米千米田・輪島朝市地区などを訪問した後、輪島塗事業者との車座での対話を行いました。



石川県災害ボランティア奥能登ベースキャンプ (穴水町・旧向洋中学校) を開設 (26日)

奥能登での災害ボランティア活動の時間を確保するため、ボランティアの宿泊拠点「石川県災害ボランティア 奥能登ベースキャンプ」を開設しました。

被災地ではボランティアの宿泊場所不足によって、長時間の移動を伴う日帰りでの活動となっていました。宿泊拠点の開設により1泊2日での活動ができるようになりました。



石川県災害廃棄物処理実行計画を策定 (29日)

令和6年能登半島地震による損壊家屋などの解体、災害廃棄物の処理について、被災者の生活再建を最優先としながら、適正かつ円滑・迅速に進めるため、具体的な処理手順などを定めました。

可能な限り分別、選別、再生利用するとともに、海上輸送も活用し、県内外での広域処理を行うことで、令和7年10月の解体完了、令和7年度末の処理完了を目指します。



	令和5年度			令和6年度												令和7年度		
	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
県災害廃棄物処理実行計画	★ 計画の実効(必要に応じて見直し) 基本方針 処理実行計画の策定																	
仮置場の設置運営	★ 開設 設置運営 選定																	
県内処理	受付																	
	解体工事実施																	
災害廃棄物の処理	運搬、処分																	
広域処理	調整																	
	運搬、処分																	

3月の主な出来事

都市計画道路山代粟津線 バイパス部が完成（2日）



都市計画道路山代粟津線で整備を進めている加賀市山代温泉神明町～上野町地内のうち、バイパス部620mの整備が完了し、供用を開始しました。

大型車同士のすれ違いが困難な県道小松山中線のバイパスとしての機能も持つ重要な幹線道路で、山代温泉へのアクセス向上と歩行者や自転車の安全性確保につながります。



首都圏アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」を 八重洲に移転オープン（9日）

首都圏アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」が、東京八重洲に移転オープンしました。

魅力的なイベントの開催や復興状況の発信を通じ、応援消費の促進を図るとともに、首都圏における観光誘客、販路開拓の拠点として積極的に活用していきます。



西部緑地公園再整備構想を策定（15日）

西部緑地公園の機能や利便性を一層高め、県内外から多くの人が訪れるにぎわいの拠点となるよう再整備を進めます。

「心地よい緑と夢の空間」というコンセプトのもと、県立野球場および産業展示館を建て替えるとともに、園内施設の再配置などを行います。



北陸新幹線が県内全線開業・IRいしかわ鉄道が全線開業（16日）

北陸新幹線の金沢・敦賀間が開業し、50年来の悲願であった県内全線開業を果たしました。同時に、JR西日本から北陸本線の金沢以西区間を引き継ぎ、IRいしかわ鉄道が全線を開業しました。



天皇皇后両陛下が被災地をお見舞い訪問（輪島市、珠洲市）（22日）

天皇皇后両陛下は、能登半島地震で甚大な被害を受けた輪島市と珠洲市を訪問され、被災者を見舞われました。



4月の主な出来事

能登農林水産業ボランティアの活動開始（2日）

能登の基幹産業である農林水産業の再開に向け、農作業などをお手伝いいただくボランティアの活動を開始しました。



のと鉄道が全線運行再開（6日）

能登半島地震で被災し、全線運休が続いていたのと鉄道は、多くの関係者の尽力により、沿線高校の入学式に間に合う形で、全線での運行再開を果たしました。



天皇皇后両陛下が被災地をお見舞い訪問（穴水町、能登町）（12日）

天皇皇后両陛下は、能登半島地震で甚大な被害を受けた穴水町と能登町を訪問され、被災者を見舞われました。両陛下が被災地を訪問されるのは、3月22日に続いて2回目となります。



いしかわ動物愛護センターを開所（14日）

人と動物の共生する社会の実現を目指し、本県の動物愛護活動の拠点が開所しました。センターでは、動物の保護や譲渡の推進、普及啓発などに取り組むほか、7月にはドッグランが供用開始し、愛称は「しっぽのかぞく」に決定しました。



加賀海浜産業道路（白山市小川町～松本町間 4車線化）が完成（21日）

整備を進めてきた加賀海浜産業道路の4車線化が完成しました。

ものづくり企業が集積する加賀地域と物流拠点の金沢港をつなげ、利便性向上とさらなる企業の集積が期待されます。



ガルガンチュア音楽祭2024を開催（28日～5月5日）

春の音楽祭の内容をリニューアルし、国内外の一流音楽家などによるクラシック音楽を中心に、アニメ・映画音楽などのプログラムを充実させました。

「大西洋をわたる風～イギリス・アメリカの音楽～」をテーマに、185公演に124,127人が来場し、音楽で春の金沢を彩りました。



5月の主な出来事

宅内配管修繕の掛かり増し経費に対する補助制度を創設（8日） 受付窓口を設置（13日）

能登半島地震により被災した能登6市町の住宅では、断水解消後も宅内配管の修繕工事の順番待ちなどが課題となっていたことから、修繕工事の加速化に向け、地元以外の工事業者が修繕工事を行う場合の掛かり増し経費に対する補助制度を創設するとともに、修繕に関する受付窓口を設置しました。



石川県災害ボランティア日本航空学園・輪島ベースキャンプ（輪島市・日本航空学園能登空港キャンパス）を開設（13日）

日本航空学園能登空港キャンパスに、災害ボランティア向けの宿泊拠点を開設しました。

ボランティア向けのベースキャンプは穴水町に続き2カ所目です。



石川県防災会議を開催（27日）

会議では、令和6年能登半島地震の検証委員会の設置、石川県地震被害想定調査方針の見直し、石川県地域防災計画の修正について審議を行いました。





◀ 詳しく見る

石川県創造的復興プランを策定（27日）

能登半島地震からの創造的復興に向けた道筋を示すため、被災地の方々へのヒアリングやアドバイザーボード会議での有識者からのご意見も踏まえ、「石川県創造的復興プラン」を策定しました。

「能登が示す、ふるさとの未来 Noto, the future of country」をスローガンに、象徴的なプロジェクトを「創造的復興リーディングプロジェクト」と位置づけています。



動画を見る ▶

発災から
プラン策定までの
動画を制作・公開



7月の主な出来事

岸田総理が被災地を視察 (輪島市、七尾市) (1日)

岸田総理は3度目となる能登半島地震の被災地の視察を行いました。能登創造的復興タスクフォース発足式に出席した後、七尾市の護岸復旧・旅館被害状況を視察しました。



まると奈良博－奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクション－を開催 (6日～8月25日)

奈良国立博物館が所蔵する国宝や重要文化財を含む至高の仏教美術約200点を一堂に展示。同館の至宝が館外で公開される展覧会としては過去最大規模となりました。

県立美術館主催の展覧会としては、歴代2番目となる56,000人を超える多くの方にご来場いただきました。



石川県能登地域公共交通協議会を 設立・開催 (26日、8月27日、12月24日)

能登地域の持続可能な地域公共交通の確保のため、宝達志水町以北の4市5町や交通事業者などで石川県能登地域公共交通協議会を設立しました。

能登の地域公共交通計画の策定に向けた議論を行います。



のとじま水族館が営業を一部再開 (20日)

地震発災直後から休館していたのとじま水族館では、施設・設備の復旧工事が進み、避難していた生き物が戻ってきたため、営業を一部再開しました。



石川県森林公園屋内木育施設「もりのひみつきち」をオープン (20日)

雨や雪の日でも利用できる屋内木育施設です。建物や大型遊具には県産木材を使用し、障がいの有無などに関わらず、あらゆる子どもが楽しめる「インクルーシブエリア」を設けました。



北陸三県情報発信拠点「HOKURIKU+」をオープン (31日)

KITTE大阪にオープンした、石川・富山・福井の魅力を発信し、誘客を図る情報発信拠点です。





県立あすなろ中学校（夜間中学）を設置（1日）

様々な理由で小学校や中学校を卒業できなかった方、不登校や病気などの理由により十分に学ばないまま中学校を卒業した方、日本の義務教育を受けることを希望する外国籍の方などのための夜間中学で、令和7年4月開校予定です。

石川の農林漁業文化賞を創設（5日）

石川県の農山漁村を支えてきた「地域」や「産地」の先導的な取り組みを称え、他の模範となる組織・団体を表彰する制度を北國新聞社と共催で創設しました。



復興フェア「のともっとMARCHE」を東京で開催（20日）

（愛知：11月9日、10日／大阪：11月22日、23日／京都：11月30日、12月1日）

被災した能登地域の農林漁業者を支援し、応援消費の促進による販路開拓につなげるため、能登を中心とする県産農林水産物などを販売する復興フェアを開催しました。



公費解体加速化プランを公表（26日）

建物の被害棟数や申請棟数の推移などを踏まえ、解体見込棟数の見直しを行いました。

公費解体の加速化に取り組むことにより、引き続き令和7年10月の解体完了を目標としました。



9月の主な出来事

のと里山空港を活用した復興応援ツアーを初開催（4日）

旅行会社と連携し、のと里山空港を活用した復興応援ツアーを実施しました。

受入可能な能登の施設を巡ることで、被災地の早期復興につなげていきます。



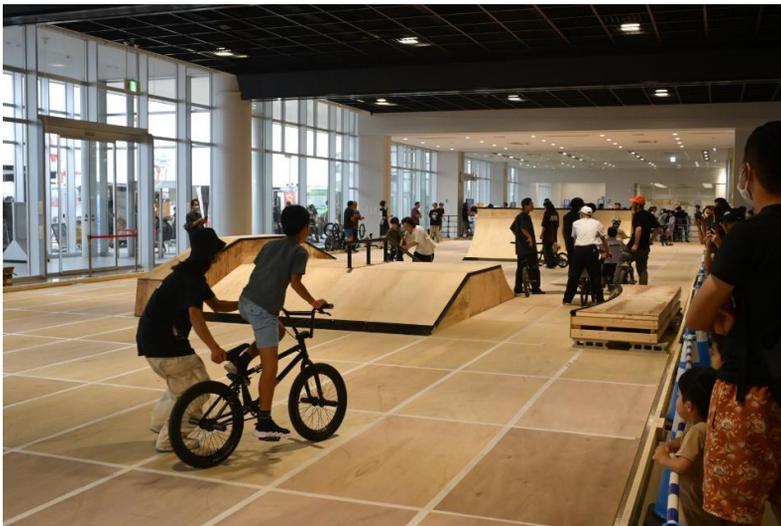
岸田総理が被災地を視察（輪島市、かほく市、内灘町）（19日）

岸田総理は、地震で被災した輪島朝市通りと輪島塗仮設工房内を視察したほか、県輪島塗漆芸美術館で生業再建に向けた車座対話を行いました。その後、かほく市と内灘町でそれぞれ液状化被害を視察されました。



いしかわアーバンスポーツパークス2024を開催（金沢市：21日、小松市：11月16日）

若い世代からの人気が高く、パリオリンピックの正式種目にも採用されたアーバンスポーツの代表的な種目を一堂に集め、体験会やデモンストレーションなどを行うイベントを開催しました。



▲▼小松会場



▲金沢会場

令和6年奥能登豪雨が発生（21日）

珠洲市、輪島市、能登町を中心に記録的な豪雨が発生。河川の氾濫や土砂崩れなどが多発し、仮設住宅では床上浸水となり、復旧を進めていた道路や水道のインフラが再び被災するなど甚大な被害が出ました。

地震からの復旧・復興の途上にある被災地を襲った複合災害となりましたが、創造的復興に向け総力を結集し、取り組んでいます。



10月の主な出来事

石破総理が被災地を視察 (輪島市、珠洲市) (5日)

石破総理は地震および豪雨の被災状況視察のため、輪島市久手川町と朝市の火災現場を視察し、輪島市と珠洲市の避難所などを訪問されました。



のとじま水族館のジンベエザメの 展示が再開 (11日)

のとじま水族館では、地震の影響でジンベエザメ2頭が死亡し、展示を休止していましたが、新たにメス1頭の展示を再開しました。



令和6年奥能登豪雨被災者向けの 建設型応急仮設住宅の建設開始 (18日)

輪島市と珠洲市で奥能登豪雨の被災者向けの応急仮設住宅の建設を開始。全団地2階建ての木造住宅で、令和7年3月末までの完成を目指します。



一般社団法人能登官民連携復興 センターを開所 (21日)

復興に向けて取り組む団体と全国のような支援団体を連携させる役割を担う中間支援組織として開所しました。行政のみでは十分に支援が行き届かない分野への対応や、民間の新たな発想による取り組みへの支援を行います。



11月の主な出来事

仮設飲食店街「NOTOMORI」がオープン（2日）

温かい食事をとれる場所を望む支援者からの声を踏まえ、支援者が集う拠点・のと里山空港に整備しました。

生業再建の支援にもつなげるため、被災事業者6店が出店。wi-fiなども備えており、ワーキングスペースとしても活用できます。



伝統的工芸品月間国民会議全国大会を開催（7日～10日）

石川県をはじめ全国の伝統的工芸品が集結し、職人による製作実演や製作体験、展示販売などを行い、国内外に日本の伝統的工芸品の魅力を発信しました。



奥能登営農復旧・復興センターを設置（28日）

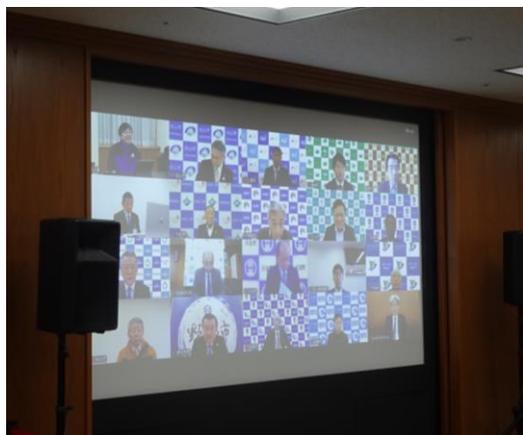
農地の復旧や営農再開の支援にワンストップで対応する相談窓口をJAのと本店（穴水町）内に設置し、被災農業者への伴走支援体制を強化しました。



カーボンニュートラル推進本部会議を開催（3日） いしかわカーボンニュートラル市町推進会議を開催（25日）

石川県でのカーボンニュートラルの推進に向け、全庁一丸となって部局横断で取り組むため、カーボンニュートラル推進本部会議を開催しました。

また、県と市町が緊密に連携して取り組みを前進させていく必要があることから、カーボンニュートラル市町推進会議を開催し、課題や問題意識を共有しました。



▲市町推進会議の様子

トキ子どもフェスタを開催（14日）

トキ放鳥に向けた気運の醸成を図るとともに、親子で楽しくトキについて理解を深めていただくため、イベントでは、トークショーのほか、県内高校生による取組発表やワークショップを行いました。



産学官石川復興プロジェクト会議を設置・開催（25日）

産学官が連携して、能登の創造的復興の象徴となるプロジェクトを推進していくことを目的に設置しました。各種プロジェクトの具体化に向け、産学官の英知を結集し、取り組んでいきます。

天皇皇后両陛下が被災地をお見舞い訪問（輪島市）（17日）

天皇皇后両陛下は、奥能登豪雨で甚大な被害を受けた輪島市を訪問され、豪雨災害で避難生活を続けている方々を見舞われました。



小松・上海便（中国東方航空）が週4便に増便（20日）

能登・羽田便が地震前と同じ毎日2往復で運航（25日）

小松・上海の定期便が週2便から週4便に増便されました。

また、能登・羽田便が1日2往復の運航となりました。復興応援ツアーの造成支援など、さらなる利用促進を図っていきます。



1月

	令和6年能登半島地震が発生
1日	16時06分 M5.7、最大震度5強 16時10分 M7.6、最大震度7 16時22分 県内初の大津波警報発表
1日	石川県災害対策本部を設置
1日	石川県災害対策本部員会議を開催（～8月21日・計54回）
1日	自衛隊に災害派遣を要請
1日	緊急消防援助隊の応援等を要請
1日	災害救助法の適用（野々市市・川北町を除く17市町）
1日	DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣開始
1日	石川県災害対策ボランティア本部を設置（令和6年能登半島地震）
1日	令和6年能登半島地震により公共土木施設が被害
2日	DPAT（災害派遣精神医療チーム）の派遣開始
2日	保健師の派遣開始
2日	薬剤師の派遣開始
3日	JMAT（日本医師会災害医療チーム）の派遣開始
3日	日赤救護班等による巡回開始
3日	令和6年能登半島地震に係るふるさと納税制度を活用した災害支援寄附を受付開始
4日	令和6年能登半島地震に係る企業版ふるさと納税制度を活用した災害支援寄附を受付開始
4日	保健医療福祉調整本部会議を設置
4日	DHEAT（災害時健康危機管理チーム）の派遣開始
4日	令和6年能登半島地震に係る災害義援金を受付開始
4日	義援物資を受付開始
6日	被災者生活再建支援法の適用（令和6年能登半島地震）（全市町）
6日	令和6年能登半島地震による被災地外への2次避難を開始
7日	歯科医師等の派遣開始
7日	モバイルファーマシー（災害対策医薬品供給車両）の配備
8日	DWAT（災害派遣福祉チーム）の派遣開始
8日	JRAT（災害リハビリテーション支援チーム）の派遣開始
8日	JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）の派遣開始
8日	いしかわ総合スポーツセンターに1.5次避難所を開設（～9月30日）
10日	介助や見守りが必要な高齢者等が避難する一時待機ステーションを運用開始（～6月26日）
11日	台湾で石川フェアを開催（～24日）
12日	令和6年能登半島地震被災者向けの建設型応急仮設住宅の建設開始（～12月23日）
13日	産業展示館2号館に1.5次避難所を開設（～3月8日）
13日	小松総合体育館に1.5次避難所を開設（～2月8日）
13日	能登半島地震関連消費者相談専用ダイヤルを設置
14日	岸田総理が被災地を視察（輪島市、珠洲市）
17日	輪島市、珠洲市、能登町の中学生が集団避難を開始（～3月22日）
20日	災害対策ボランティア現地本部に災害ボランティアコーディネーターの派遣開始
22日	生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付の受付開始

22日	石川こころのケアセンターを開設
26日	金沢事業者支援センターを設置
27日	能登・羽田便が週3日（火・木・土）1日1往復で運航再開
27日	ボランティアバスの運行開始
2月	
	「今行ける能登」の情報発信を開始
1日	応援消費おねがいプロジェクトを開始
1日	石川県令和6年能登半島地震復旧・復興本部を設置・開催（3月28日、5月20日）
1日	ケアマネジャーや民間ボランティア団体等が被災地の在宅高齢者の健康状態等を確認する個別訪問を開始（～6月30日）
2日	被災地外に避難している高校生を対象とした学習環境を文教会館に確保（～3月15日）
6日	石川県災害廃棄物処理の基本方針を策定
10日	県民スペシャル応援デーを開催（8月25日、9月8日、11月3日、12月1日、8日）
13日	全ての公立高等学校および県立特別支援学校が始業
16日	いしかわ伝統工芸フェア2024を開催（～18日）
19日	能登事業者支援センターを設置
19日	全ての公立小中学校が始業
24日	岸田総理が被災地を視察（穴水町、輪島市）
26日	石川県災害ボランティア奥能登ベースキャンプ（穴水町・旧向洋中学校）を開設（～7月19日）
28日	なりわい再建支援補助金の公募開始
29日	石川県災害廃棄物処理実行計画を策定
3月	
	金沢城公園情報発信計画を策定
1日	広域避難者に対する見守り・相談支援を開始
2日	都市計画道路山代栗津線バイパス部が完成
7日	石川県令和6年能登半島地震復旧・復興アドバイザーボードを設置・開催（4月10日、9月9日）
9日	首都圏アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」を八重洲に移転オープン
11日	動画「石垣の博物館」金沢城を公開
15日	西部緑地公園再整備構想を策定
16日	北陸新幹線が県内全線開業
16日	IRいしかわ鉄道が全線開業
16日	北陸応援割「いしかわ応援旅行割」キャンペーンを実施（～11月30日、GWおよび8月を除く）
16日	金沢城・兼六園四季物語を開催（17日、4月5日～14日、27日、28日、5月3日～7日、6月1日、28日、29日、7月5日、6日、10月4日、5日、11日～13日、15日～19日、25日、26日、11月1日～3日、8日、9日、15日、16日、22日、23日、29日、30日、12月6日、7日）
16日	VR映像「よみがえる金沢城二の丸御殿」を金沢城公園鶴の丸休憩館内のシアターで放映開始
22日	天皇后両陛下が被災地をお見舞い訪問（輪島市、珠洲市）
22日	エアリーフロアに新品種のマロン（石川f12号）とダブルパープル（石川f13号）がデビュー
25日	金沢港将来ビジョンを策定
29日	能登半島地震復興支援ファンドを設立
4月	
1日	県テレビ広報番組をリニューアル

	<p>県の組織機構を改革 総務部 「デジタル推進監室」を設置 「県庁デジタル推進課」と「地域デジタル推進課」を設置 （「デジタル推進課」を改組） 能登半島地震復旧・復興推進部 1日 「能登半島地震復旧・復興推進部」を新設 「創造的復興推進課」と「生活再建支援課」を設置 「復旧・復興現地対策室」を設置 文化観光スポーツ部 「文化観光スポーツ部」を設置 （「観光戦略推進部」と「県民文化スポーツ部」を再編） 「観光戦略課」を設置 （「観光企画課」と「誘客戦略課」を統合）</p>
	1日 「加賀の國」広域観光イベントを開催（～令和7年3月31日）
	1日 能登ふるさと博を開催（～令和7年3月31日）
	1日 能登産業復興相談センターを開設
	2日 能登農林水産業ボランティアの活動開始
	6日 のと未来トークを開催（7日、13日、14日、20日、21日、28日、29日）
	6日 のと鉄道が全線運行再開
	9日 被災地外に避難している高校生を対象とした学習環境を県立内灘高等学校に確保（～7月19日）
	12日 天皇后陛下が被災地をお見舞い訪問（穴水町、能登町）
	14日 いしかわ動物愛護センターを開所
	14日 いしかわエコハウスをリニューアルオープン
	15日 能登・羽田便が毎日1往復で運航
	19日 石川県地震被害想定調査方針を見直し（8月29日）
	21日 加賀海浜産業道路（白山市小川町～松本町間4車線化）が完成
	24日 石川県成長戦略「ミライカイギ」を設置・開催（10月8日）
	27日 いしかわ動物園入園者が800万人達成
	28日 ガルガンチュア音楽祭2024を開催（～5月5日）
	29日 第38回県民みどりの祭典を開催
5月	
	7日 兼六園150周年記念行事を開催
	8日 宅内配管修繕の掛かり増し経費に対する補助制度を創設
	11日 交通安全県民運動を実施（～20日、7月11日～20日、9月21日～30日、12月11日～20日）
	13日 宅内配管修繕の受付窓口を設置
	13日 石川県災害ボランティア日本航空学園・輪島ベースキャンプ（輪島市・日本航空学園能登空港キャンパス）を開設（～令和7年1月19日）
	23日 石川県総合教育会議を開催
	27日 石川県防災会議を開催
	31日 断水が解消（復旧困難地区除く）
6月	
	1日 仮設住宅等へのリハビリテーション専門職の派遣開始
	4日 金沢城スペシャルガイドツアーを実施（～25日、10月5日～11月7日）
	25日 令和6年能登半島地震復興基金（総額約539.8億円）を創設
	26日 デジタル活用ものづくり支援センターを開所
	27日 復旧・復興の歩み動画を公開

	27日 白山火山防災訓練を実施（28日）
	27日 石川県創造的復興プランを策定
7月	
	いしかわ動物愛護センターの愛称決定、グランドオープンイベントを開催
	1日 岸田総理が被災地を視察（輪島市、七尾市）
	1日 能登創造的復興タスクフォースを発足（17日、8月5日、9月12日、12月9日）
	1日 石川県地域支え合いセンターを設置
	1日 ILAC能登を開設
	6日 まるごと奈良博－奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクションを開催（～8月25日）
6日	観能の夕べを開催（13日、20日、27日、8月3日、10日、17日、24日、31日、令和7年1月25日、2月1日、8日、3月1日、8日）
	9日 シェイクアウトいしかわ（県民一斉防災訓練）を実施
	17日 北陸三県合同の「かがやき☆Hokuriku 女性活躍サミット」を開催（主催：福井県、共催：石川県・富山県）
	20日 のとじま水族館が営業を一部再開
	20日 石川県森林公園屋内木育施設「もりのひみつち」をオープン
	24日 子ども消防学校を開催（25日）
	26日 石川県能登地域公共交通協議会を設立・開催（8月27日、12月24日）
	26日 金沢芸妓の舞を開催（～令和7年3月27日・計30回）
	29日 消防学校を核とした総合的防災拠点基本構想策定委員会（第3回）を開催
	31日 北陸三県情報発信拠点「HOKURIKU+」をオープン
8月	
	消防学校を核とした総合的防災拠点基本構想を策定
	石川県医療計画を策定
	いしかわ健康フロンティア戦略2024を策定
	第3次いしかわ歯と口腔の健康づくり推進計画を策定
	石川県感染症予防計画を策定
	1日 いしかわ外国人材活用ワンストップセンターを開設
	1日 県立あすなろ中学校（夜間中学）を設置
	5日 石川の農林漁業文化賞を創設
	8日 奥能登公立4病院機能強化検討会を開催
	16日 2024いしかわミュージックアカデミーを開催（～25日）
	17日 アニメ・スタいしかわを開催（18日）
	17日 石川ユナイテッドと連携した能登復興支援事業を開催（11月11日、12月1日、15日、29日）
	17日 おいしい！楽しい！！エコ農業フェアを開催
20日	復興フェア「のともっとMARCHE」を東京で開催（愛知：11月9日、10日／大阪：11月22日、23日／京都：11月30日、12月1日）
	24日 いしかわ環境フェア2024／いしかわの里山里海展2024を開催（25日）
	25日 「自転車の安全利用コーナー」ブース出展および「自転車トライアル」パフォーマンスステージを開催
	26日 公費解体加速化プランを公表
	30日 能登の水産関係港の復興方針を策定
9月	
	4日 のと里山空港を活用した復興応援ツアーを初開催
	6日 いしかわ舞台芸術祭2024を開催（～12月21日）
	10日 のと里山海道全線対面通行再開
	19日 岸田総理が被災地を視察（輪島市、かほく市、内灘町）

21日	令和6年奥能登豪雨により公共土木施設が被害
20日	在校生用の輪島漆芸技術研修所仮設寄宿舎が完成
	令和6年奥能登豪雨が発生
21日	09時07分 能登地方に顕著な大雨に関する気象情報（線状降水帯）発表 10時50分 県内初の大雨特別警報発表
21日	石川県災害対策本部を設置
21日	石川県災害対策本部員会議を開催（～10月16日・計15回）
21日	災害救助法の適用（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）
21日	自衛隊に災害派遣を要請
21日	緊急消防援助隊の応援等を要請
21日	石川県災害対策ボランティア本部を設置（令和6年奥能登豪雨）
21日	いしかわアーバンスポーツパークス2024を開催（金沢市）（小松市：11月16日）
24日	令和6年奥能登豪雨に係る企業版ふるさと納税制度を活用した災害支援寄附を受付開始
24日	令和6年奥能登豪雨に係る災害義援金を受付開始
24日	令和6年奥能登豪雨に係るふるさと納税制度を活用した災害支援寄附を受付開始
24日	能登半島地震関連消費者相談専用ダイヤルに豪雨災害の相談専用ダイヤルを併設
29日	石川県障害者ふれあいフェスティバルを開催
10月	
	LPガス使用者への支援を実施（10月（9月使用分）に1,000円を減額）
	専門職による被災者の健康相談や栄養指導を開始
	食品ロス削減月間（10月）においてイベント等を実施
	不法投棄等防止強化月間（10月）において隣県と連携した取り組みを実施
1日	北陸デスティネーションキャンペーンを実施（～12月31日）
2日	住宅向け太陽光発電設備普及促進事業費補助金制度を創設
2日	ツキノワグマ出没警戒情報を発令
2日	SNS相談「女性のための相談室@いしかわ」を開設
5日	石破総理が被災地を視察（輪島市、珠洲市）
7日	石川県社会福祉会館建替工事基本構想策定検討委員会を開催（12月23日）
7日	広域避難高齢者等の帰還に向けたマッチング支援を開始
7日	輪島漆芸技術研修所の授業再開
8日	いしかわ女性輝くダイバーシティ企業塾を開講（28日、11月13日、28日、令和7年1月20日／フォローアップ研修 10月18日）
9日	被災者生活再建支援法の適用（令和6年奥能登豪雨）（輪島市、珠洲市）
10日	「いしかわゼロカーボンの日」関連イベントを開催
10日	OECDグローバルフォーラム石川県エクスカージョンを実施（11日）
11日	令和6年奥能登豪雨による被災地外への2次避難を開始
11日	のとじま水族館のジンベエザメの展示が再開
15日	能登復興推進隊が活動開始
18日	令和6年奥能登豪雨被災者向けの建設型応急仮設住宅の建設開始
19日	第45回石川の農林漁業まつりを開催（20日）
19日	2027いしかわ総文1000日前PRイベントを開催
19日	金沢城シンポジウム「能登半島地震と金沢城-文化財石垣の価値と復旧-」を開催
20日	「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」に各種事業を実施（～11月3日）
21日	一般社団法人能登官民連携復興センターを開所
22日	海外アンテナショップをフランスに開設（～令和7年1月31日）

- 25日 第71回日本伝統工芸展金沢展を開催（～11月4日）
- 28日 令和6年能登半島地震対策検証委員会（第1回）を開催

11月

- 1日 児童虐待防止オレンジリボンキャンペーンを実施（～30日）
- 1日 いしかわパープルリボンキャンペーン2024を実施（～30日）
- 1日 いしかわ教育ウィークにおいて各種事業を実施（～7日）
- 2日 仮設飲食店街「NOTOMORI」がオープン
- 2日 石川県森林公園開園50周年記念イベントを開催（3日）
- 5日 温泉文化シンポジウムを開催
- 7日 アパレル産業連絡懇談会を開催（8日）
- 7日 伝統的工芸品月間国民会議全国大会を開催（～10日）
- 8日 新入生用の輪島漆芸技術研修所仮設寄宿舎が完成
- 9日 いしかわ食のてんこもりフェスタ2024を開催（10日）
- 9日 いしかわ介護フェスタを開催
- 10日 石川県防災総合訓練を実施
- 16日 女性消防団員専門知識向上セミナーを開催
- 17日 子育て支援メッセいしかわ2024を開催
- 20日 石川県と和歌山県との連携協定締結式を開催
- 24日 石川県原子力防災訓練を実施
- 25日 小松・上海便（中国東方航空）が就航20周年
- 28日 奥能登営農復旧・復興センターを設置
- 29日 石川県交通安全県民大会を開催

12月

- 1日 被害者支援県民フォーラム2024を開催
- 3日 カーボンニュートラル推進本部会議を開催
- 11日 飲酒運転根絶の日における啓発イベントを開催
- 11日 令和6年暴力団追放石川県民大会を開催
- 14日 トキこどもフェスタを開催
- 17日 天皇后両陛下が被災地をお見舞い訪問（輪島市）
- 20日 小松・上海便（中国東方航空）が週4便に増便
- 20日 豪雨による断水が解消（復旧困難地区除く）
- 25日 産学官石川復興プロジェクト会議を設置・開催
- 25日 能登・羽田便が地震前と同じ毎日2往復で運航
- 25日 いしかわカーボンニュートラル市町推進会議を開催
- 26日 能登半島地震アーカイブ ティザーサイトを公開